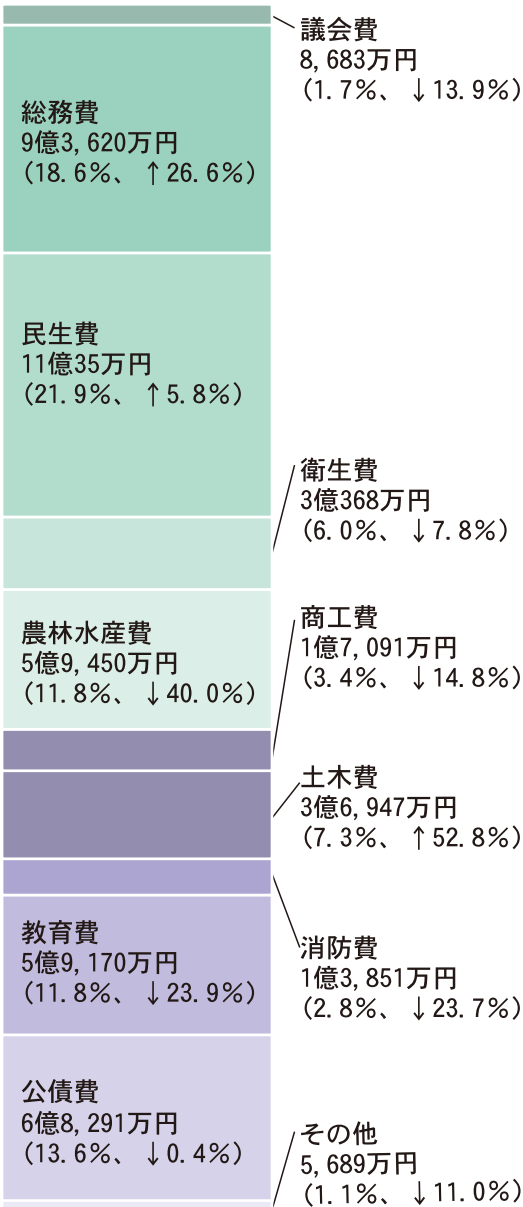


# 1 普通会計 歳入

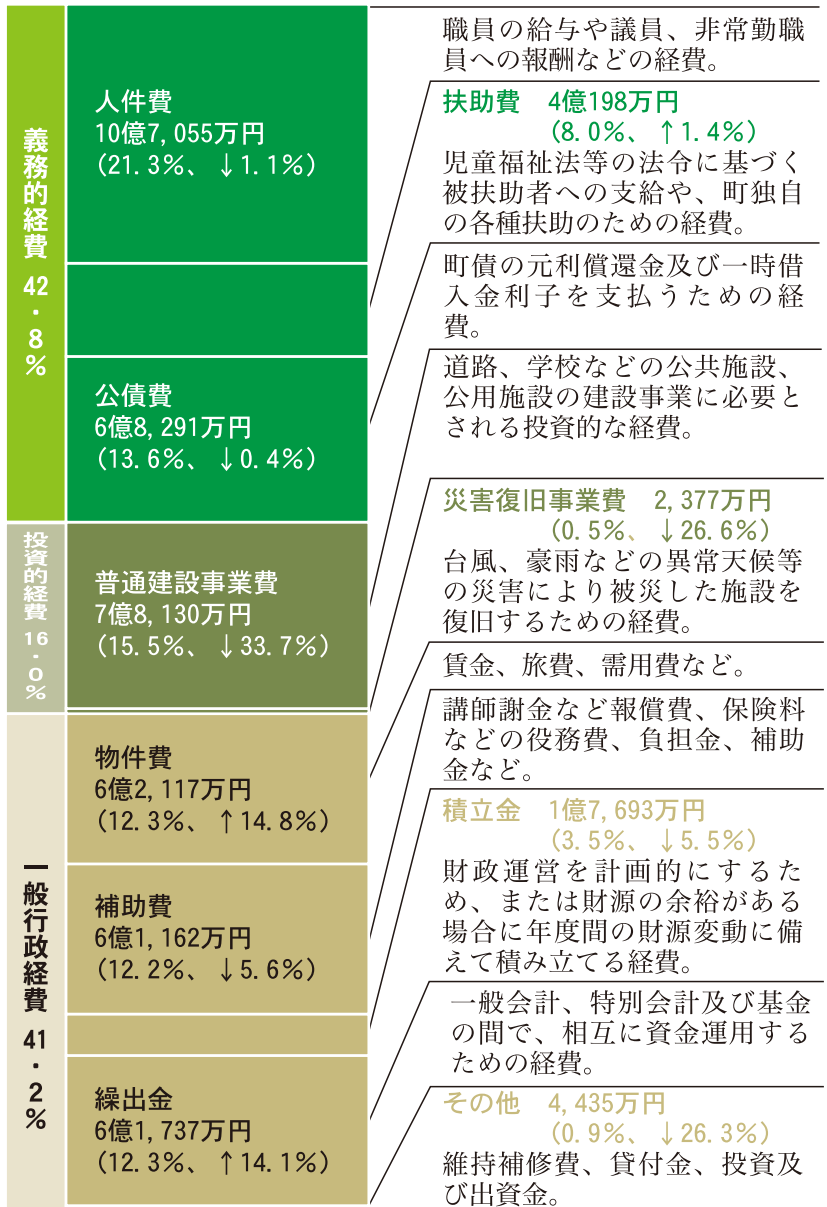
## 歳出 50億3,195万円

前年度比 3億2,029万円(6.0%)減

### ■目的別



### ■性質別



目的別では、総務費が前年度と比べ26.6%、1億9,695万円の増となっていますが、これは国民健康保険特別会計への法定外の繰出金が7064万円増となっているのが主な要因です。

また、繰出金は前年度と比べ14.1%、7636万円の増となっていますが、これは国民健康保険特別会計への法定外の繰出金が7064万円増となっているのが主な要因です。

デジタル化事業（本年度完成予定）が主な要因です。

歳出の決算は、50億3195万円、前年度に比べ6.0%、3億2029万円の減少となりました。

性質別で見ると、大型事業の完了により普通建設事業費が前年度に比べ33.7%、3億9631万円の減少となりましたが、物件費で健診・予防接種等委託料が2604万円、えらぶ特産品加工場運営費が1930万円の増となっています。

また、繰出金は前年度と比べ14.1%、7636万円の増となっていますが、これは国民健康保険特別会計への法定外の繰出金が7064万円増となっているのが主な要因です。

一般会計、特別会計及び基金の間で、相互に資金運用するための経費。

その他 4,435万円  
(0.9%、↓26.3%)  
維持補修費、貸付金、投資及び出資金。

万円で、前年度に比べ7.1%、3億8942万円の減少となりました。

主に、町債（田皆認定子ども園舎新築事業費債、知名小学校屋内運動場建設費債等）が2億8413万円減となっており、これが要因です。